



本市の伝統行事「高倉獅子舞」が最優秀賞を受賞しました

(一財)埼玉県農協福祉事業団が主催する「第37回農村地域文化賞」において、「高倉獅子舞」が最優秀賞を受賞しました。この文化賞は、各JAが推薦する農村地域の発展に寄与する団体を表彰するものです。30年以上ある歴史の中で、JAいるま野から最優秀賞を受賞したのは今回で5例目となります。高倉獅子舞保存会会長の清水さん(写真中央)は、「今後も農村地域の発展に尽力したい」と決意されていました。

ふるさと納税返礼品に追加された株式会社関水金属鶴ヶ丘新工場での工場見学が実施されました

3月20日、株式会社関水金属鶴ヶ丘工場で工場見学などが行われました。これはふるさと納税の返礼品として、寄附をしていただいた方を対象としたもので、全国から98組177人が参加しました。当日は親子での参加者も多くみられ、通常は完成形が販売されている鉄道模型の組立体験や製品となる車両の製造過程の見学、軽便鉄道の乗車体験など、非日常的な空間を楽しんでいました。



知育パズルで健やかな成長を

3月21日、株式会社ビジネスオリコから知育パズル5セットが寄贈されました。このパズルは、本市に事業所がある同社の社員が制作したもので、国産間伐材を使用しています。こどもたちが木に触れ、木を使いながら森林保全への興味・関心を引き出すとともに、情操教育の推進のために活用させていただきます。なお、知育パズルは、児童館で遊ぶことができます。

脚折雨乞をパネルで振り返る

3月24日、株式会社埼玉新聞社から、埼玉新聞で特集された脚折雨乞の記事をまとめたパネルが寄贈されました。このパネルの制作のために追加取材された内容もあり、記者の熱い思いを感じる内容になっています。寄贈されたパネルは、市内小中学校や公共施設などに展示し、多くの方に鶴ヶ島市の伝統行事「脚折雨乞」を知ってもらい、郷土愛を深めていただけるよう活用させていただきます。





ふんわり美味しいごはんをこどもたちへ

3月25日、富士見保育所で、鈴茂器工株式会社による地域貢献事業の「メディア発表会」が行われました。これは、市内に新工場を建設中の同社から、企業版ふるさと納税として、市内の公立保育所にご飯盛付けロボット「Fuwarica」が寄附されたものです。当日は、こどもたちが市長や社長と一緒に給食を食べ、「Fuwarica」を使い自分でおかわり体験をしました。こどもたちからは、「ふんわり、温かくておいしい」という声が聞こえました。

風味豊かな草餅を作ってみよう

3月23日、農業交流センターで草餅作り講習会が開催されました。受付開始早々にたくさんの応募があり大人気となったこの講習会では、農業交流センター花壇で栽培した生のヨモギを使用しており、緑が色鮮やかに映える草餅が完成しました。たっぷりのあんこと香り高い餅が合わさった味いに、参加者の笑顔が溢れていました。



満開の桜と天気にも恵まれた 「第41回鶴ヶ島桜まつり」

4月5日、運動公園で第41回鶴ヶ島桜まつりが開催されました。前々日までは気温が低く開花の進みも停滞していましたが、前日からは春らしく暖かな過ごしやすい気候となり、きれいに花開いた中でのまつりとなりました。青い空の下、こどもからご年配の方まで多くの方がお花見や写真撮影、イベントなどを楽しんでいました。

雨にも負けず 「第20回高倉菜の花まつり」

4月13日、農業交流センターで第20回高倉菜の花まつりが開催されました。あいにくの雨模様でしたが、名物である石窯ピザが売り切れとなるほど大盛況でした。ステージイベントは屋内へ変更となったものの、その分距離が近づいて迫力が増し、出演者や出店者、来場者が一体となってまつりを楽しんでいました。雨が降ったからこそ、忘れない思い出になった人もいないのではないでしょうか。

